

事業計画・収支予算書

公益財団法人浜松市花みどり振興財団
令和元年度

目 次

	頁
1 令和元年度事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2 令和元年度収支予算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
3 資金調達及び設備投資の見込み・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7

令和元年度 公益財団法人浜松市花みどり振興財団 事業計画

1 運営の基本方針

公益財団法人浜松市花みどり振興財団は、はままつフラワーパークの管理運営を通して、来園者に圧倒的な美しさによる「感動」と「安らぎ」を与えるとともに、「花と緑のまち・浜松」の象徴的施設として、魅力あふれる空間づくりを進めてまいります。

花みどりを通じた園芸文化の普及においては、毎年当園を核として開催している「浜名湖花フェスタ」での目玉展示である1,300本の桜と50万球のチューリップの競演「世界一美しい桜とチューリップの庭園」のさらなる充実はもとより、「静岡デスティネーションキャンペーン（平成31年4月～令和元年6月）」に併せ、魅力的な周辺園芸コンテンツを活用した特別企画「大物盆栽展」の開催（平成31年3月～令和2年6月）等により、「さらに美しく成長しつづける園」の具現化を加速いたします。

また、本年度は5ヶ年に亘る第2期指定管理期間の4年目であり、これまでの管理ノウハウを礎に、利用者ニーズに対応した多様な事業を展開してまいります。令和2年度の「フラワーパーク開園50周年」はいよいよ来年に迫ってまいりました。

この記念すべき節目をさらに園を飛躍させていく絶好の機会と捉え、市民や来園者にかつてない驚きと笑顔を提供する記念事業を大々的に仕掛けることで、花の聖地としてのトップブランド化を図りつつ、園の魅力の世界に発信してまいります。

特に、園の多面的活用の促進を見据え、民間企業等との連携・協働の拡大を推進することで、公益事業の原資となる収益の確保を図るとともに、「浜名湖花博2014」以来の大きな成果を上げられるよう努めてまいります。

一方で経年による施設・設備等の老朽化が進行しているため、不具合箇所の解消やユニバーサルデザインに配慮した改善はもちろんのこと、集客効果が高く、財団の経営安定化にも資する整備を市と連携し、推進してまいります。

併せて、当財団の設立目的である花みどりの普及や情操教育の場の提供として、学生の職場研修や学校出張講座のほか、園内に開設された適応指導教室「くろーばー」を活用した教育振興事業の実施により、園芸福祉の活動拠点としての取り組みも行います。

今後も花とみどりに満ちた快適な市民生活の実現のために、「高度な園芸技術」「施設機能や特性に精通」「観光関係者との信頼関係」などの当財団の持つ強みを活かし

つつ、新規の園芸文化普及事業にも積極的に挑戦し、地域の信頼と期待に応え得る円滑な法人運営に努めてまいります。

2 事業内容

【公益目的事業】

「花き類の栽培展示、栽培技術指導及び優良種苗の生産配布による園芸文化の普及と情操教育の推進に関する事業」

- (1) 花き類の栽培技術の指導、花の優良種苗の生産及び配布業務
 - ＜当地の自然環境や栽培要件に適合した種苗の生産及び配布＞
 - ア キク及びフリージアの新品種の導入、試作、展示並びに優良品種の選定
 - イ キクのオリジナル品種の育成及び配布
 - ウ 浜松 PC ガーベラ部会より依頼された実生苗の生産・育成
 - エ ラン生産者組合との協力連携によるランの育成及び配布

- (2) 園芸文化の普及、情操教育の推進業務
 - ＜生活の質の向上や生きがいつくりとしての生涯学習活動の推進＞
 - ア 市民からの日常的な園芸相談の実施
 - イ 「塚本こなみ園芸教室」はじめ、各種園芸教室の開催
 - ウ 教育関係者及び児童生徒等研修生の職場体験の受入
 - エ 小中学校の総合学習との連携及び学校出張講座等「花育」の推進
 - オ 園内ガイド、園芸作業ボランティアの積極的な受入
 - カ 「車椅子押し隊」など学生ボランティアの参加受入により健全な青少年の育成を行う「心根（こころね）」教育の推進
 - キ 自然体験教室等の開催による教育文化事業の普及と情操教育の涵養推進
 - ク 市教育委員会と連携した「適応指導教室」の運用による児童への教育支援
 - ケ 「健康増進パーク」として市民の健康づくりを实践する事業の実施
(トレッキングコース活用によるウォーキング利用者の来園促進)
 - コ **新規**地元大学と連携し、園の新たな利活用についての研究発表や植物に関連した体験教室の随時開催による園芸文化普及事業の拡大

- (3) 花みどりを基軸とした地域経済・産業の活性化関連業務
 - ＜市民福祉の増進と浜名湖周辺地域の振興＞
 - ア 障がいのある人や高齢者、社会参画が困難な方々への園芸作業を通した園芸福祉事業の実施
 - イ 観光圏振興の取り組みとして、民間主導の実行委員会形式による「浜名湖花フェスタ」への参画と館山寺温泉観光協会等関係団体との協力連携

- ウ 周辺観光関連事業者や地域観光施設と連携した営業セールス・誘客活動の推進
- エ 「浜松市花と緑の祭」等各種市民緑花ふれあい事業への参画
- オ ニューツーリズム事業としての着地型観光商品造成への積極的参画
- カ 舘山寺温泉観光協会と連携したガイド付き蛍ツアー「蛍の見られる温泉街」等の実施
- キ フラダンスの聖地としてイベントの定期開催をはじめ、花みどりと文化芸術事業の連携と市民交流人口の拡大
- ク 東アジア諸国を中心としたインバウンド事業での誘客促進の強化
- ケ 「浜松市緑化推進センター」指定管理事業における浜松公園緑地協会との一部共同運営を通じた花みどり文化の効果的発信と入園相乗効果の創出
- コ 市消防局や上下水道部等への園の利活用提案による市民協働事業の推進
- サ **新規**「天浜線 花のリレープロジェクト」参画による周辺の観光振興と地域活性化の推進

(4) 花き類の栽培展示業務

<3,000種の草花の育成管理による自然環境とのふれあいの場の提供>

- ア メインエントランス広場及びクリスタルパレス周辺のコンテナ花壇装飾
- イ 早咲きの桜園（舘山寺桜、雛桜、雛八丈桜）の充実
- ウ 花梅園の修景及び早春ボタン展示の充実
- エ 早咲き菜の花と7万球のラップズイセン及び早咲きチューリップの展示
- オ 桜とチューリップ展示（50万球）の効果的な展示手法の提案
- カ フジ棚の増設と「虹のフジのトンネル」の整備充実
- キ 西洋シャクナゲ、ヘメロカリスの植栽展示等、多彩な「花のリレー」の展開
- ク 熱帯スイレンの展示
- ケ ヒガンバナ類の展示
- コ アメジストセージをメインにした秋花壇の充実
- サ 百種接分菊、トーテムポール菊の栽培展示
- シ モザイカルチャー作品（「ほほえみのハーモニー」等）の装飾とその維持管理
- ス ウェルカムガーデン、スマイルガーデン等の花壇展示による癒し空間の創出
- セ 熱帯植物（サボテン類、珍しい草花類）及び球根ベゴニアの育成管理
- ソ 国内植物園で初めて開花させたヨルダン国花「ブラックアイリス」の育成管理
- タ ブラジル国花イペの追加植栽等、桜の後も絶え間なく花の見頃が続く園の実現
- チ **新規**浜名湖花博15年目の春特別企画「大物盆栽展」開催による新たな園芸文化の提案（平成31年3月～令和2年6月）

(5) 観賞、散策及び研修用の施設の運営管理業務

<誰もが安心して利用できる快適な癒しの空間の提供>

- ア 夜間開園の魅力度アップ（夜桜、ウインターイルミネーション等）

- イ 園内移動車両 3 編成（56 人乗り車椅子 2 台収容可/57 人乗り車椅子 2 台収容可/53 人乗り車椅子 2 台収容可）稼働による入園者サービスや利便性の向上
- ウ 作業研修、体験学習の場となる育苗・栽培圃場の肥培管理と施設維持
- エ 大温室クリスタルパレスの管理運営及び温室内ガーデンシアターでの企画展の開催
- オ **新規**「花みどり館」での体験学習機能の強化充実による集客機能の向上（技術職員による新規体験教室の企画や園の特性に合ったプログラムの実施）
- カ 芝の常緑エリア拡大（オーバーシード）と美しい庭園空間の創出
- キ **新規**「フジのライトアップ」の本格開催による新たな集客要素の演出
- ク マスコットキャラクター「ふらまる」を活用した広報活動の推進と新たな顧客層の開拓

(6) 館山寺総合公園の指定管理業務

＜浜松市における園芸・教育文化の象徴的施設としての効率的な管理運営の推進＞

- ア 花の図書館「はままつフラワーパーク」と隣接する「浜松市動物園」が連携した「館山寺総合公園」の適正かつ効率的な管理運営
- イ 動物園と連携したイベントの開催と誘客増の取り組み（ナイトズー等における弾力的な連携とイベント相互告知の効果的实施等）
- ウ 開園 50 周年を見据え、市と連携してのソフト・ハード両面に亘る計画的な整備の推進（集客効果が高く、経営安定化にも寄与する施設の整備）

(7) 「浜名湖花フェスタ」の定着化

- ア 「浜名湖花フェスタ」の充実と花みどり文化の一大発信拠点としての園の定着化
- イ **新規**「浜名湖花フェスタ 2019」の名称に「浜名湖花博 15 年目の春」のサブタイトル表記による「浜名湖＝花の観光地」の相乗効果演出と当地域への誘客強化
- ウ 平成 31 年 4 月～令和元年 6 月開催の「静岡DESTINATIONキャンペーン」での、当園ならではの宣伝力の高い観光プログラムの造成とその告知強化及び各種誘客プロジェクトへの参画

【収益目的事業】

「売店・レストラン・遊具・自動販売機売上等に関する事業」

- (1) 園内の売店・レストラン（カフェ含む）・遊具・自動販売機の活用による入園者の利便性の向上及び販売等に関する業務
＜快適な便益施設及び更に魅力的なアメニティゾーンの形成＞

- ア 直営ショップ、レストランでのクレジットカード決済機能の活用による利便性の向上と売上の強化
- イ 斬新な創作メニューの提供及びオリジナル名物メニューの開発・充実
(導入例：クレミアソフト、野菜カレー、地元産しらすを用いた遠州双子丼、牡蠣カバ丼等)
- ウ 地域特産品（民芸品・食品）を取り揃えた郷土品コーナーをショップの一角に設置。来場者の購買意欲を掻き立て、売上増に貢献する取り組みの強化
- エ **新規**消費税の軽減税率制度導入に向けた万全な準備対応による来場者サービスの維持向上
- オ こども広場を中心とした安全で快適なアメニティゾーンの形成

3 業務の合理化など経営健全化への取り組み

<CS（顧客満足）を意識した愛される園づくりの推進>

施設やサービスなど多様な満足度の指標を設定し、部門別に評点化することで、従来の運営方法から一歩進めたCS（顧客満足）を展開するとともに、5S委員会での取り組み等により顧客満足度を的確に把握し、お客様の声を運営に反映させ、入園者の増を図ります。

- (1) アンケートやメール・電話等を通じて市民から寄せられた意見等を集約し、改善すべき事項をマニュアル化することで、改善に結びつけます。
- (2) アンケートで毎月数値化される「顧客満足度」の向上を図ります。
(令和元年度目標満足度値 4.6点 平成 25～29 年度平均値 4.5 点/5 点満点)

1 令和元年度 公益財団法人浜松市花みどり振興財団 収支予算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
ア 基本財産運用益	12	12	0
イ 事業収益	447,628	465,955	△ 18,327
入園料収益	216,657	218,260	△ 1,603
レストラン売上収益	49,275	51,930	△ 2,655
売店売上収益	101,246	109,115	△ 7,869
駐車場使用料収益	44,000	48,950	△ 4,950
園内移動車両使用料収益	11,350	11,850	△ 500
施設使用料収益	14,650	14,850	△ 200
その他使用料収益	6,300	6,850	△ 550
受取雑収入	4,150	4,150	0
ウ 受取指定管理料	111,242	111,242	0
エ 受取利息	15	15	0
経常収益計	558,897	577,224	△ 18,327
(2) 経常費用			
ア 事業費	506,719	526,906	△ 20,187
報酬	5,750	5,750	0
給料	75,258	77,896	△ 2,638
職員手当	30,696	31,980	△ 1,284
法定福利費	15,893	16,482	△ 589
退職給付費用	5,000	6,000	△ 1,000
賃金	102,000	105,000	△ 3,000
旅費交通費	400	400	0
報償費	8,938	9,338	△ 400
燃料費	10,000	10,000	0
光熱水費	22,335	22,835	△ 500
備用品費	15,550	16,112	△ 562
印刷製本費	1,842	1,842	0
通信運搬費	1,130	1,130	0
広告宣伝費	12,030	12,030	0

科 目	予算額	前年度予算額	増減
手数料	9,755	9,655	100
交際費	30	30	0
会議費	700	700	0
厚生福利費	171	121	50
負担金	460	460	0
被服費	300	250	50
賃借料	1,775	2,150	△ 375
雑費	30	30	0
委託費	37,722	34,970	2,752
修繕費	8,515	10,830	△ 2,315
保険料	1,261	1,261	0
原材料費	4,862	5,192	△ 330
肥料農薬費	3,975	4,146	△ 171
種苗費	40,566	40,502	64
園内装飾資材費	3,000	2,900	100
売店材料費	65,310	74,528	△ 9,218
食材費	19,851	20,772	△ 921
棚卸減耗費	100	100	0
減価償却費	1,514	1,514	0
イ 管理費	52,178	50,318	1,860
報酬	5,750	5,750	0
給料	13,589	13,197	392
職員手当	6,234	5,800	434
法定福利費	4,665	4,541	124
備用品費	30	30	0
通信運搬費	120	120	0
手数料	150	150	0
厚生福利費	140	140	0
負担金	400	400	0
委託費	1,800	1,890	△ 90
公課費	300	300	0
消費税	19,000	18,000	1,000
經常費用計	558,897	577,224	△ 18,327
当期經常増減額	0	0	0

科 目	予算額	前年度予算額	増減
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	214,769	206,166	8,603
一般正味財産期末残高	214,769	206,166	8,603
II 指定正味財産増減の部			
1 (1) 受取補助金等			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	55,000	55,000	0
指定正味財産期末残高	55,000	55,000	0
III 正味財産期末残高	269,769	261,166	8,603

※収支予算書は「公益法人会計基準の運用指針」(平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会)に示された様式に準じて作成している。

収支予算書内訳表

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	公益目的会計	収益事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
ア 基本財産運用益	12	0	0	12
イ 事業収益	277,357	170,271	0	447,628
ウ 受取指定管理料	77,494	0	33,748	111,242
エ 受取利息	15	0	0	15
経常収益計	354,878	170,271	33,748	558,897
(2) 経常費用				
ア 事業費	362,516	144,203	0	506,719
イ 管理費	12,730	5,700	33,748	52,178
経常費用計	375,246	149,903	33,748	558,897
当期経常増減額	△ 20,368	20,368	0	0
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 20,368	20,368	0	0
他会計振替額	5,367	△ 5,367	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 15,001	15,001	0	0
一般正味財産期首残高	93,653	121,116	0	214,769
当期市建設負担金	0	0	0	0
一般正味財産期末残高	78,652	136,117	0	214,769
II 指定正味財産増減の部				
1 (1) 受取補助金等				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	55,000	0	0	55,000
指定正味財産期末残高	55,000	0	0	55,000
III 正味財産期末残高	133,652	136,117	0	269,769

【資金調達及び設備投資の見込みについて】

平成31年4月1日～令和2年3月31日

■資金調達の見込みについて

当期中における借り入れの予定はありません。

■設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除去または売却を含む。)の予定はありません。